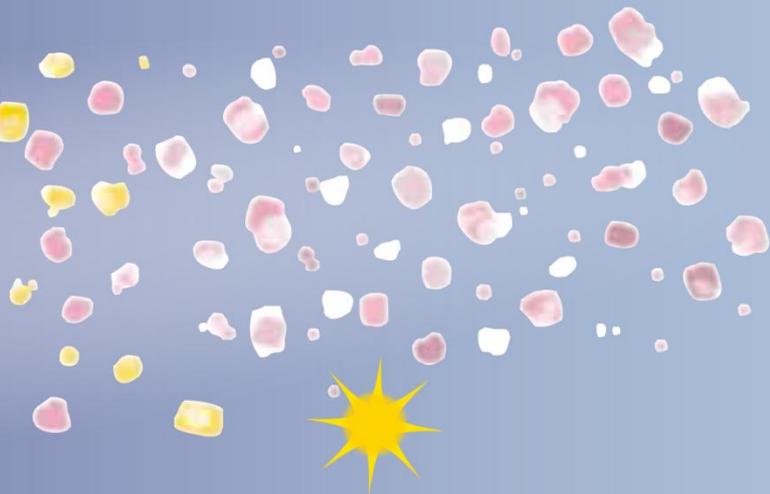


かたの  
くらし  
けしき





## 交野での暮らしを、より

### 目次



めでる・・・3



みわたす・・・4



はぐくむ・・・5



ととのえる・・・6



つたえる・・・7



## ステキにする10の方法



まなぶ・・・8



はなつ・・・9



しつらえる・・・10



うけつぐ・・・11



みがく・・・12

# めぐる

身近なまちに目を凝らすと、毎日はずっとおもしろくなる



交野のまちをよく見てみると・・・。

春先にふわりと咲く梅の花、風に揺れる青々とした田、かつての街道の名残の道標、住宅の素敵なお庭、駅前の花壇に咲くお花など、ちょっとしたいいものがたくさんあることに気がきます。こうしたものは、まちを歩くときの楽しさを倍にしてくれます。

また、ちょっと足を延ばして溪谷のハイキングや、川沿いの散歩、山登りなどはいかがですか。心も体も目もリフレッシュすることができます。

身近な日々の暮らしの風景を彩るものたちに目を凝らしてみても良いでしょう。

## 再発見！交野らしいものたち

### ●石でできたものたち

交野では、石でつくられたものをたくさん見つけることができます。家の土台の石積み、集落の常夜灯、街道の道標・・・。昔ながらのものが、大切に守られてきているのですね。

### ●山の中にある「交野八景」

交野八景は交野を代表する8つの自然景観スポットです。リフレッシュしたい時、癒されたい時に、訪れてみてはいかがでしょうか。

# みわたす

まちの広がり、まるでミニチュアのように

山の斜面にある住宅地からはまちを見渡せ、交野市内はもちろん、枚方方面や遠く淀川の対岸まで望むことができます。

まちを横一直線に通るのが第二京阪道路で、一番遠くに見えるのは北摂連山です。山のシルエットが手前から奥へとグラデーションのように変化し、風景に奥行きを与えてくれます。

山麓には棚田があり、市街地の広がりとのハーモニーが楽しめるのも交野の特徴です。

胸がすかっとするような眺望を、堪能してみるのもいいですよ。



## ほかにもある、交野の特徴的な景観



棚田と  
まちの  
広がり



田園と  
山並みの  
広がり



第二京阪  
道路に  
沿った  
見通し



緑に包ま  
れた山中  
のこみち

# はぐくむ

農は、大地と人との連携プレー



天野川の水と肥沃な土に恵まれた交野は、昔から農業が盛んな土地でした。

田んぼや畑は、私たちの命の源である食べ物を多くの人が心をこめて育てている場所です。見ているとなんだかほっとしませんか。

近年は、田畑が住宅に変わってきているところもありますが、農業はまだまだ身近に行われています。

市内には、農業体験や市民農園として使われている畑や田もあります。みなさんも、一度チャレンジしてみてもどうでしょうか。

## 「農」が作り出す風景

なんだかほっとする田園風景は、育っていく稲穂や吹き渡る風、水面に映りこむ空や色々な生き物などが作りだしているのです。

### 田園風景のキーワード

おたまじゃくし/カエルのなきごえ/トンボ/水を張った水面が映し出す空/風にそよぐ植えたての苗  
重そうになる黄金の稲穂/広がる田園と奥に見える山地の組み合わせ

# ととのえる

## 家の庭先は、住む人の心を映す鏡

庭先に草花を飾ることは、自分らしさの表現だけではなく、ご近所の人や家の前を通る人へのおもてなしの気持ちでもあります。近頃はプライバシーを守るためや防犯上の理由から、家の外と中をしっかりと区切り、暮らしの気配を感じにくい家も増えてきました。庭先や玄関口を通りから見えるようにして、さりげなく飾ってみませんか。住んでいる人の人柄も伝わり、コミュニケーションも生まれるかもしれません。

少しの工夫をすることにより、あなたらしさを表現することができます。



### こんなお庭はいかがでしょう

#### ●花で彩りを演出

つつじ、あじさい、バラ、コスモスなど色鮮やかなお花は目を楽しませてくれます。

#### ●木で季節感を演出

春は花を咲かせ、夏は爽やかに繁り、夏は紅葉する、木の表情は季節を感じさせてくれます。

#### ●「暮らしに役立つ」演出

ゴーヤやあさがおのカーテンは、夏の暑い日差しから守ってくれ、見た目も涼しげで、音を楽しむこともできます。

# つたえる

ステキな「瞬間」を切り取って、他の誰かにご紹介



誰かに伝えたい、と思うような景色に出会うことはありませんか。例えば、「今日の夕焼けはきれいだなあ」「猫がかわいい!」「田園の水面に山が映っている」など、心に響く景色のことです。

景色との出会いは、一期一会です。その瞬間を切り取って、誰かに伝えてあげてはいかがでしょうか。

写真に撮ってメールに添えるのが簡単です。また絵手紙などで自分なりに表現して、インターネットを使って SNS などで発信するという方法もあります。

さて、どうやって伝えましょう？ まずは、簡単にできる方法から始めてみましょう。

●写真に撮る

→インターネットで発信する

年賀はがきにデザインにする

●スケッチする

→家族に見せる

●絵手紙にする

→知り合いに送る

●俳句に詠む

→サークルで発表



天野川星  
まつり

# まなぶ

## 平安貴族も楽しんだ、いにしへの交野

交野にはいにしへの物語が息づいています。

天野川流域は白砂の広がる美しい場所で、平安貴族に愛され、和歌に詠まれてきました。一方、山麓では機織りが盛んで、茄子作(なすづくり)遺跡からは機織り具が出土しており、機物(はたもの)神社も機織りの神様を祀っています。これらが組み合わさって、交野の地に七夕伝説が定着してきたそうです。

このほかにも、たくさんの方が往来してきた街道や昔ながらの面影が残る集落もあるなど、見どころいっぱいです。

このようなスポットを巡るまちあるきに、参加してみるのもいいですよ。



左上：機物神社  
右上：妙見宮  
左下：天田神社  
右下：磐船神社

## まだまだある、言い伝えや古い街道

### ●天の磐船 (あまのいわふね)

天野川上流には、磐船神社があります。物部氏の先祖神・ニギハヤヒの命が天上より天の磐船で地上に降臨したと伝えられており、宇宙船を思わせる巨大な岩がたくさんあります。(右下写真)

### ●東高野街道、かいがけの道、磐船街道

東高野街道は高野山へ、かいがけの道・磐船街道は生駒市へと続いています。今も、道標などが残っています。

# はなつ

さわやかなせせらぎに、ホタルが飛び交う初夏の夜



自然豊かな交野には少し前まで、山地や川の周辺、田畑などに色々な生き物がいました。田畑が少なくなり、人工的な環境になるにつれて、本来の植生や生き物が姿を消してきています。

現在は、身近な小川のお手入れをしてホタルを放つなど、地域の人の手により、生き物のすめる環境を取り戻す取組が始まっています。

生物の姿や虫の音が、私たちのすぐそばに当たり前のようにある、そんな暮らしも「交野らしい」といえるのではないのでしょうか。

※ホタルはイメージです

## 生き物のすめる環境を取り戻す～「ビオトープ」～

ビオトープは、本来その土地に生息していた植生や生態系を回復するための、水辺などの自然環境のことです。

生物は、たくさんの種が互いに関係しながら生きているため、ある一つの生物だけを連れてくるのではなく、長い目で見て「生態系」として回

復することが大切です。そのために、水、土、草などの自然環境そのものを、再生します。

息の長い取組なので、ビオトープの環境を見守っていくために、色々な人を巻き込んでいくこともポイントの一つです。

# しつらえる

## みんなが集まる場所は、地域の「顔」

地域みんながよく集まる場所や、人通りが多い場所、マンションの出入り口などは、多くの人が目にする「顔」となる場所です。

みんなが気持ちよく過ごすことができるように、ゴミなどがない状態にしたり、お花を植えたりと、ひと手間かけてみてはいかがでしょうか。「きれいですね」「いつもありがとう」などと会話も生まれるかもしれません。

また、印象に残る場所になると、子どもたちの待ち合わせ場所になるなど、地域の人が自然に集まる憩いや交流の場になるかもしれませんよ。



### 例えばこんな場所が「顔」



河内磐船駅の前は、ボランティアのみなさんにより花育てが行われ、四季折々の花が目を楽しませてくれます。



星の池公園は、妙見東の住宅地の住民により手入れされ、お散歩が楽しめる憩いの空間となっています。

# うけつぐ

昔ながらの家並みは、これからもずっと宝物



交野にはいくつかの集落があり、一歩足を踏み入れれば今も懐かしいまちなみに出会えます。家の修理や建て替えは地域の大工さんが行ったため、伝統的なデザインが受け継がれ、まとまりのあるまちなみがつくられてきたのです。

この昔ながらのまちなみを未来に残していくためには、まちなみの特徴を読み取り、建物を建て替えるときに周りの建物と調和させるよう工夫することが大切です。

交野をぶらりと散策し、迷路のような集落にふらっと迷い込んでみるのもいいものですよ。

## 集落を探検しませんか

明治以前から続く集落には、私部、倉治、寺、星田、私市があります。板塀や石積みなどが連続する、細い路地が特徴的です。

白壁、瓦屋根の建物も典型的に見られ、大きな門などがあり、歩いて楽しいまちなみとなっています。



# みがく

## みんなで景観まちづくり

地域のまちなみは、家を出たら毎日目にします。いつまでもきれいで、気持ちのいい景観にしていきたいものです。

それぞれの庭の通りから見える場所を緑で飾る、七夕やクリスマスなどの季節にちなんだ飾り付けを行うなど、地域の景観を良くする取組をしてみるのはいかがでしょうか。

どんなまちにしていきたいか、どうやってまちを磨いていくのかを地域で話し合っ、みんなで力を合わせて取り組んでいくのもいいですね。



### みんなで力を合わせてまちを育てていくための制度

景観まちづくりにこれから取り組もうとする地域や団体に対して、専門的な視点からのアドバイスなどで応援する、景観まちづくり専門家派遣制度を市が用意しています。

地域住民のみなさんがまちなみを守り、育むためのルールを担保する仕組みとして、景観まちづくり協定制制度や景観協定制制度、地区計画制度があります。

# 交野 景観物語

交野では、自然を大切にしながら身の丈にあった「交野サイズ」の暮らしが営まれてきました。それが長い時間をかけて、交野の風土にかなった景観をつくりだしてきました。

しかし現代は、暮らしの中での自然やまちとの関わり方の形がかわり、普通に生活することだけでは地域らしい景観を育むことは難しくなりました。

交野らしい景観を守り、まちなみをよくしていくために

は、意識して景観づくりに関わっていく必要があります。

私たち一人ひとりの、ちょっとしたまちへの気遣い、心遣いが、まちの景観を変えていきます。そのためには、身近な景観に気付き、大切に思う心が重要です。

その第一歩として、まずは身近な景観を見つけ、一緒に楽しんでみませんか。あなたの暮らしがもっとステキになるかもしれません。

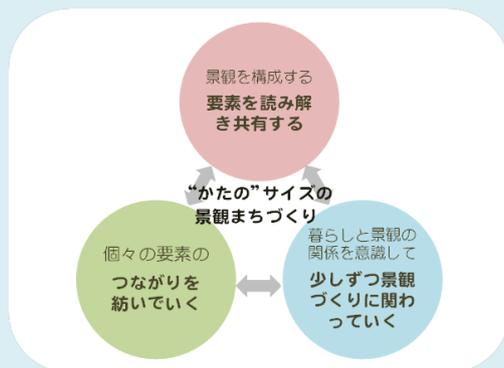


# 交野市景観まちづくり計画の紹介

## 景観まちづくりの基本理念

交野の景観の特徴は、身近で豊かな自然、歴史、文化、賑わいなどの個性が景観を構成する要素としてほどよく存在していることです。

こうした特徴を大切に、暮らしの営みとの関係を意識しつつ、要素間の関係性を紡いでいくことで、交野らしい景観を創っていくものとします。そうした取り組みに、市民のみなさんが少しずつ関わっていくことを景観まちづくりの基本理念とします。



## 類型別の景観まちづくりの目標

景観の特徴を踏まえ8つの類型に区分し、その類型ごとに景観まちづくりの目標をかかげています。

- 山地  
山なみや河川等の自然に親しみ、魅力を守る
- 田園・里山  
田園、里山が一体となった空間構成が作りだす、のどかな田園風景を継承する
- 集落地  
地域の個性を形成する集落のなつかしさを感ずるたたずまいを守り、活かす
- 拠点市街地（各駅周辺）  
地域の顔となる魅力的な市街地の景観の核をつくる
- 計画的住宅地  
いつまでも住み続けられる、持続可能な住宅地の環境を守り育てる
- 一般市街地  
快適な暮らしを支える住宅地の景観づくりを進める
- 工業地  
周辺環境と共存する工業地をつくる
- 幹線道路沿道  
まちの軸となる沿道景観を形成する



かたの 暮らし けしき

発行 平成26年4月

交野市役所 都市整備部 都市計画課

編集 株式会社地域計画建築研究所

576-8501 大阪府交野市私部1丁目1番1号

TEL : 072-892-0121 FAX : 072-893-2636